

立体ジオセル工法 ジオウエップ

NETIS登録番号：(旧) HK-090006-V
NETIS登録番号：HK-160013-VR
NNTD登録番号：1075

旭化成アドバンス株式会社

〒105-0004 東京都港区新橋6-17-21 住友不動産御成門駅前ビル8F

TEL 03-5404-5611 FAX 03-5404-5614

URL <https://www.asahi-kasei.co.jp/agt/>

[資料請求先] 環境資材事業部 (TEL.03-5404-5611、FAX.03-5404-5614)

[拠点] 仙台 (TEL.022-227-1015)、名古屋 (TEL.052-212-2252)、大阪 (TEL.06-7636-3926)、
広島 (TEL.082-511-2111)、福岡 (TEL.092-526-2113)、沖縄 (TEL.098-941-2581)



ジオウエップによる擁壁工



ジオウエップによる路盤工

概要

ジオウエップは耐久性に優れた高密度ポリエチレン (HDPE) 板を千鳥状に高周波圧着し、展開したときに立体ハニカム構造になるジオセル製品で、セルの内部に発生土や碎石などの充填材を詰めることにより強度のある構造体を形成する。

ジオウエップは、擁壁・路盤支持力の向上・法面保護・河川護岸等、さまざまな用途で効果を発揮し、環境負荷の少ない工法として現在も使用用途が拡大している。

用途

- ・法面保護 ・河川／水路護岸 ・擁壁工 ・仮設道路
- ・路盤・支持力補強工 ・災害復旧
- ・離島・山間部など重量物運搬が困難な場所



ジオウエップによる水路工



ジオウエップによる法面工

特長

1. 軽量・コンパクト

ジオウエップは軽量・コンパクトなので保管に便利で現場への搬入も容易である。

2. 簡単施工

緩勾配の斜面に展開し、アンカーピンで固定後、覆土をすることにより法面保護材として使用できる。また急勾配の切土斜面に階段状に積むだけで擁壁として使用できる。

3. フレキシブルな構造

素材が耐久性、柔軟性に優れた高密度ポリエチレンのため、現場の形状に合わせた施工が可能である。

4. 在来種による緑化

セル内に現地の種子入り発生土を充填すれば、在来種による緑化が図ることができる。積層積み擁壁として設置した場合、ポケット部に現地の種子が飛来して在来種による緑化が図ることができる。

5. 幅広い適用工種

法面保護、植生擁壁、河川・水路護岸から路盤・支持力補強工まで広範な応用が可能である。

ジオウエップ諸元と用途

シリーズ	タイプ名	セル高さ	標準寸法 (W×L)	標準展開面積 ※Rシリーズは壁面積	重量	主な用途
S	S100	100mm	2.50m×7.60m	19.0m ²	約25kg	法面保護 路盤・支持力補強
	S150	150mm			約37kg	
	S200	200mm			約49kg	
M	M100	100mm	2.50m×9.60m	24.0m ²	約26kg	
	M150	150mm			約39kg	
	M200	200mm			約51kg	
L	L100	100mm	2.50m×16.00m	40.0m ²	約25kg	
	L150	150mm			約37kg	
	L200	200mm			約49kg	
	L300	300mm			約46kg	
R	R3グリーン	150mm	2.65m×0.8m	0.4m ² (正面見付)	約4kg	斜面安定
	R4グリーン		2.65m×1.07m		約5kg	
	R3サンドカラー		2.65m×0.8m		約4kg	
	R4サンドカラー		2.65m×1.07m		約5kg	

標準寸法は敷設の参考値であり、最大/最小の敷設許容寸法は別途要問い合わせ。